

京都芸術大学舞台芸術研究センター「紀要」

編集・投稿規程

京都芸術大学舞台芸術研究センター「紀要」は、京都芸術大学舞台芸術研究センター（以下「本センター」）の研究紀要である。

目的

- 一、本紀要は、舞台芸術分野における学術的議論の深化と研究交流の促進を目的として発行するものである。
- 二、舞台芸術に関わる広範な研究テーマを対象に、京都芸術大学内外の研究者から広く公募した論文を中心として、本センターの研究成果や活動報告、レクチャー採録等を掲載し、多様な視点からの知の共有を図る。
- 三、また本紀要は、舞台芸術分野に関わる京都芸術大学の学生に対し、舞台芸術に関連した自身の実践活動や学びの成果、創作プロセスの記録等を発表する機会を提供する。

掲載内容

本紀要は、以下の内容から構成される。これらは、依頼原稿または投稿原稿とし、原則として未発表のものに限る。

- 一、研究論文
- 二、研究ノート
- 三、資料紹介
- 四、調査報告書
- 五、創作ノート
- 六、その他、編集委員会が掲載を認めたもの

応募資格

- 一、本学に所属する教員（非常勤含む）、研究員（非常勤含む）、職員、大学院生、学生。通学課程・通信教育課程は問わない
 - 二、本学舞台芸術研究センターの事業に関わる者
 - 三、その他、編集委員会において投稿を認めた者
- なお、共著については、主となる執筆者は必ず右記応募資格を持つ者であること

採否

- 一、投稿された原稿の掲載可否については、編集委員会が委嘱する査読者の審査に基づき編集委員会が決定する。審査の結果、採択されたものについては、問題点を応募者に指摘し、書き直しを求める場合がある。また、不採択になったものについては、その結果と理由を通知する。
- 二、それ以外の原稿の掲載可否については、編集委員会において決定する。

校正

- 一. 著者校正は初校のみとする。
- 二. 査読論文においては、初校で大幅な加筆・修正があった場合は、審査制度と抵触するため、掲載が取り消される場合がある。

著作権

- 一. 本紀要に掲載された原稿の著作権は、原則として著者に帰属する。ただし、本誌に掲載された論文、研究ノート等は、本センターホームページ、本センターデジタルアーカイブ上で無償公開することを原則とする。
- 二. 著者は、本紀要に掲載された論文・研究ノート等を、本センターホームページ及び本センターデジタルアーカイブ上で無償公開する権利の行使を、本センターに委ねるものとする。
- 三. 掲載原稿に使用した写真・図版等に関わる肖像権・著作権等については、著者が事前に手続・処理を行い、必要な許諾を得るものとする。著作権上の問題が生じた場合は、著者がその責を負うものとする。

贈呈

- 一. 研究論文の採択者には、本誌1部、抜き刷り20部を贈呈する。
- 二. 研究論文以外の採択者には、本誌1部を贈呈する。

編集委員会

編集委員会は、本センター所長及び所長が委嘱した者をもって構成し、編集の責にあたる。

発行

本紀要は、原則として年に1回発行する。

附則

- 一. 本規定は、2026年3月1日から施行する。
- 二. 本規定の改廃は、編集委員会において行う。

執筆要項

文書の形式

執筆に関する文書の形式は以下の通りである。以下は、依頼原稿・投稿原稿を問わず適用する。ただし、三は、研究論文の投稿者にのみ適用される。

- 一、研究論文の分量は、8000～20000字程度（400字詰め原稿用紙 20～50枚相当）を原則とする。研究ノート、調査報告、資料紹介、創作ノートは、4000字（400字詰め原稿用紙 10枚相当）を下限とする。いずれの場合も、註や文献表等を含む。ただし、一時に発表すべきものと認められる場合は、この限りではない。
- 二、研究論文に関しては、原稿の 1 ページ目に題名、和文要旨（400字程度）、5 項目以内のキーワード、論文の分量を示す字数を明記し、これを表紙とすること。ただし、著者氏名は記入しないこと。本文は、原稿の 2 ページ目以降に記載すること。
- 三、研究論文の投稿段階では、原稿に個人特定可能な情報（「拙論、拙著」表記、科研費番号等）を記載しないこと。

※以下（四～十一）は、すべての投稿形式（研究論文、研究ノート、資料紹介、調査報告書、創作ノート、その他編集委員会が掲載を認めたもの）に共通して適用する。

- 四、原稿のほかに、氏名（和文表記と英文表記）、所属機関名（該当者のみ）、連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）、題名、原稿の種類、応募資格を明記した別紙と、2000字程度の掲載用プロフィールを各 1 部作成し、原稿とともに提出すること。
- 五、要旨・提出原稿は、原則として A 4 横向き・縦書き・文字サイズ 10.5 ポイント・1 行 40 字×1 頁 30 行とする。
- 六、数字は算用数字を用いる。
- 七、年については、西暦（和暦）年とする。
【例：1970（昭和45）年の場合】西暦年号の数字（例：「1970」）は 1 文字ずつ縦に並べて表記、括弧内に併記する和暦表記（例：「昭和45」）の年数の数字（「45」）はアラビア数字で記載するが、横方向に連続して並べること。
- 八、英語表記は横、略語は縦表記とする。
- 九、注釈、文献表等は文末にまとめる。
- 十、2000字程度の掲載用プロフィールを提出。
- 十一、写真を使用する場合は、解像度 600 dpi 以上を推奨する。

提出の方法

- 一、原稿と別紙のファイルは、下記のメールアドレス宛に添付ファイルで送付すること。原稿データは、Microsoft Word(拡張子.doc など.docx)、及び PDF ファイルの両方を添付すること。また、ファイル容量が大きくなる場合（20 MB 以上）は、各種のファイル転送サービスを利用すること。メール本文には応募者の氏名・題名・連絡先、メールの件名には「『舞台芸術研究センター紀要』投稿原稿」と記入すること。
- 二、図や表、写真等がある場合は、必ずキャプションをつけること。また、図や表、写真はレイアウト

した状態(実際に Word 内に図として組み込んだ状態)で提出すること。

- 三. 図や表、写真等がある場合のみ、Word 及び PDF の原稿データとは別に、「画像データ」及び「PDF データ」を提出すること。

公募日程

- 一. 公募の開始日・締切日については、公募案内にて別途通知する。投稿を希望する場合は、センターのホームページや公募案内を確認の上、提出すること。

応募宛先

京都芸術大学 舞台芸術研究センター

k-pac.rc@kua.kyoto-art.ac.jp

※投稿メール送信後 3 日以内に編集委員会より受領確認の返信がなかった場合は、添付ファイルなしのメールで確認を促すこと。

お問い合わせ先

京都芸術大学 舞台芸術研究センター

k-pac.rc@kua.kyoto-art.ac.jp